

第84回福島県中央メーデー

雇用と生活の再建に全力で取り組もう！

～あづま総合運動公園に約3,600名が結集～

第84回福島県中央メーデーは4月27日(土)やや冷たい風が吹きすさむ中、あづま総合運動公園に連合福島並びに労福協傘下の組合員など、約3,600名が結集して開催された。

主催者を代表して影山道幸実行委員長は、「東日本大震災の発生から3回目のメーデーを迎えた。今も幾多の困難に直面しているが、連帯と支援の行動を継続して取り組み、復興と再生に全力を傾注しなければならない。働くことは生きること、その働くという現場が壊れている事態に立ち向かわない労働運動や福祉運動はあり得ない。格差是正、底上げ、底支えの取組を更に推進し、雇用と生活の再建に全力で取り組まなければならない。すべての働く者の連帯をはかり、働くことを軸とする安心社会を実現しよう。」と挨拶した。

その後、佐藤雄平福島県知事、瀬戸孝則福島市長、金子恵美民主党県連副代表、紺野長人社民党県連副代表など来賓の皆さんからお祝いのことばを頂き、引き続いてメーデー宣言を採択した後、決議文を手交してから影山実行委員長のガンバロー三唱で式典を終えた。



主催者を代表して挨拶する影山道幸実行委員長



第84回福島県中央メーデーに参加された皆さん

ふれあいイベントコーナーでは、ふあふあ遊具やミニ鉄道、更には地元の農産物販売、なみえ焼きそば、喜多方ラーメン、たこ焼き等、多くの店が出店し、それぞれが大盛況で大変盛り上がった中、楽しい第84回メーデーも午後2時には終了となった。

アピールコンテストでは、国見町職員労働組合が、そのアピール度を評価され見事一等賞に輝いた。更に、お楽しみ抽選会では川俣町職員労働組合の武藤さんが、幸運にも一等賞の加湿・除湿機能付空気清浄機を射止めた。式典後のメーデーイベントは大道芸人のジャグリングから始まり、波恵ダンスショーや仮面ライダーフォーゼとの握手会など、お父さん・お母さんと一緒に参加した子供たちが冷たい風の中、握手を求めて長蛇の列を作った。